



NO.

いちょう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

昭和・平成・令和

住職 平田真純

昭和・平成を経て、東京の風景は大きく変わりました。浅草でも、私の少年時代の原風景と一致するのは、浅草寺観音堂と東武浅草駅のガードくらいのもではないでしょうか。

それと、忘れるわけにはいきませんが、待乳山も建物は木造から鉄筋へ次々と変わってはきていますが、境内のたたずま

いは、ほとんど変わっていません。約一四〇〇年の歴史を持ち、多くの人々の心のよりどころになってきた待乳山は伝統を重んずるべき場所でもあ



現在の東武浅草駅のガード下

りましょう。

昭和になってから

百年近くの間、世の中は大きく変わり、今はデジタル化の波が一気に押し寄せ、

AIが社会のはたらしの一部になりつつある時代です。生活

環境や人間関係も変化し、今までは違った形のストレスも

生じてくることで

よう。ともすれば無機質な場面が増えそうな世の中で、

人間としての情緒を保つのは大切なことになりました。

今まで以上に、大いなる自然の営みや、神様・仏様の存在が必要になってきます。木々の緑豊かで、江戸時代の香りすら残す待乳山を大切に維持していきたい

と思う次第です。



戦前の本堂

待乳山便り

平林寺 氷川神社日帰り参詣の旅

日時 六月二十九日(土)

今年の信徒旅行は埼玉にある平林寺と氷川神社の参拝を予定しております。

埼玉県さいたま市にある氷川神社は各地に点在する氷川神社の総本社で、大宮という地名の由来「大なる宮」にもなっております。

平林寺は臨済宗妙心寺派の寺院で、修行道場として有名です。国の天然記念物に指定されている自然豊かな境内林もあります。



定員 四〇名
参加費 九、〇〇〇円

五月御縁日大法要・行事紹介

香湯加持会

五月二十日(月) 午前十一時

講金 二、〇〇〇円

五月二十日、香湯加持会を執行いたします。

香湯加持会では、読経の声の響く内陣で申し込みの方に住職より香湯で加持いたします。

お札やお守りのお加持にも使われるこの香湯ですが、浴油祈禱では開白と結願の日にこの香湯で聖天様をお清めいたします。

聖天様を香湯でお清めするというのは、本来お持ちになつている大日如来のお智慧を現わしていただくという意味合いもございます

五月より年号が令和

になります。新しい時代の「開白」の月に当たります。聖天様をお清めする香湯で皆様

自身をお加持することによって、皆様の本来の能力を現わし、また聖天様を近くに感じていただき新しい時代の「開白」を心新たな気持ちでスタートしていただければと思います。

お申し込みは寺務所にて受付しております。



朝まいり会大般若法要

五月七日 午前九時

五月の朝まいり会の七日には、斉食終了後大般若法要を執行しております。

朝まいり会の会員の方は是非ご参加ください。

お宮参り

三月七日、木村仁ちゃんのお宮参りを行い、行者様よりご加護を授かりました。尊天様のご加護で健やかに成長されることをお祈りしております。



御奉納

都志安雄様よりお団用の太白胡麻油六本をご奉納いただきました。

当院では僧侶が作った特製のお団をこの太白胡麻油で揚げてご本尊にお供えております。



大聖歡喜天利生記

神仏が衆生に利益を与えることを利生と呼びます。かつての当山誌『待乳山便り』に掲載された信仰体験談をシリーズでご紹介いたします。

私の信仰 ④

伊波幸爾郎

(待乳山便り 昭和二十五年一月発行)

帰って見ると腫れて血が少し固まっている。幾分痛みが出てきたので医者に見て貰ったら、すねがすりむけているだけで骨なんか少しも傷んでいない。医者は「坐ったままの姿勢で落ちたのが良かったのですね」と言う。今考えても落ちるときに坐った型そのままであることは奇跡と言うしかない。足が腫れていたのは無理して歩いて帰ってきたせいだったのです。

自分ではそれ程大した事とも思っておりませんでした。周囲の者からは是非とすすめられて、ともかく入院することにされてしまい、半ば治療と半ば遊びのつもりで半月程病院で過ごしました。本当にお見舞い頂くとくすぐったいやら困ってしまいました。その後、退院してから寒くなっても別に痛めた足から痛みも何も出ません。元通りそれこそ何事もなかったような具合なので、いまだ私の年と考え合わせ皆不思議に思っております。

此の様に常識では考えられない様な事が、私の過去には文字通り数えきれないほどあるのです。

感謝の生活

さて尊天信仰によって頂く現世の御利益は単に物質的なものばかりではありません。お金では到底買えないような種々の事が数多くあるのです。物質的な事柄はその時々にはつきり頂いたと言う事が判りますが、その他の事は過ぎさった後で思い当たります。

私たち家族の永い信仰生活は子供たちが皆成人して後までも、それぞれの家庭で皆熱心に御参詣し、お陰様でみんな円満に家業を励んでおります。家庭内の不和とか病人が出たりすることも無いのを感じております。

これと言うのも尊天様に皆が揃って信仰し、手のひらを合わせる如く、それぞれ家庭が離れていても心は一つに帰しているに他ならぬと存じます。

拙い信仰談で意のある話を十分にお伝え出来なくて誠に残念ですが、皆様の御信仰に資すれば幸いです。

(終わり)

※当時掲載された文章を再編集しています。(文責 編集部)



国境を越えた待乳山

本堂を描いたリトグラフをご奉納いただきました。

作者は東京芸術大学のセルビア人留学生のミレンコさんです。

主に日本の下町の建物、街並みを描いているのですが、今回ご奉納いただいたリトグラフは歌川広重の浮世絵を研究の一環として、一昨年从去年にかけて寺務所の前で本堂の夏と冬の様子を描いたそうです。

ミレンコさんの帰国の日にご本人からわざわざ奉納いただきました。

奉納していただいたお礼として待乳山のお下がりのお酒をお持ち帰りいただいたところ、セルビアでバーを経営しているミレンコさんのお父様が皆に振る舞い、美味しいと評判だったそうです。

芸術を通じてはるか国境のかなたのセルビアでも聖天様のお下がりで人々が「歓喜」していると考えると非常に喜ばしい事です。

リトグラフは額堂に展示しておりますので御詣りの際は是非お立ち寄りください。



五月行事予定

御縁日大法要

香湯加持会

五月二十日(月) 午前十一時

講金 一、〇〇〇円也

ご参拝の皆様を浴油祈禱で使う香湯でお加持いたします。

朝まいり会

五月一日〜七日 午前八時から八時半

会費 五〇〇円也

都合のよい日に、ご参加くださっても結構です。最終日には、読誦終了後に食事作法と大般若法要を行います。

日曜勤行

五月十二日(日) 午前九時

参加費 無料

初心の方も気軽にご参加いただけるおつとめの会です。

写経の会

五月十二日(日) 午前十時/午後二時

会費 五〇〇円也

心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。

坐禅の会

五月二十五日(土) 午後五時〜七時 定員三十名 参加費 五〇〇円也

本堂にて坐禅を行います。定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

合同大般若法要

五月二十五日(土) 午前十一時 法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんとご一緒にお上げする御礼の法要です。

六月の行事 御縁日大法要

地藏供養会

六月二十四日(月)

午前十一時 講金 一、五〇〇円也

ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願

い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。当山ではこの浴油祈禱を、

毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈禱料

別座祈禱 壱万円(一週間)
浴油祈禱 三千五百円(二週間)
華水供 五百円(一日)

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壱万円
当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。ご意見やご質問は ityou@matsuchiyama.jp までメールをお送りください。